



SeciossPass の端末 ID



SeciossPass の端末 ID は PC の全ての MAC アドレスをハッシュ化して生成します。

SeciossPass の初期設定時から NIC の数が減ったり、MAC アドレスが変わった場合、登録時の端末 ID と異なってしまいます。

そのため、SeciossPass の起動時に「**シークレット復号失敗**」と表示されます。

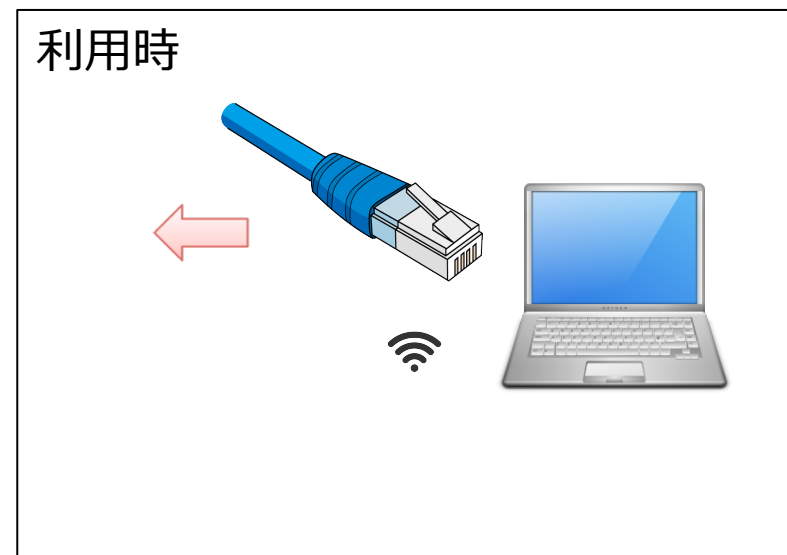
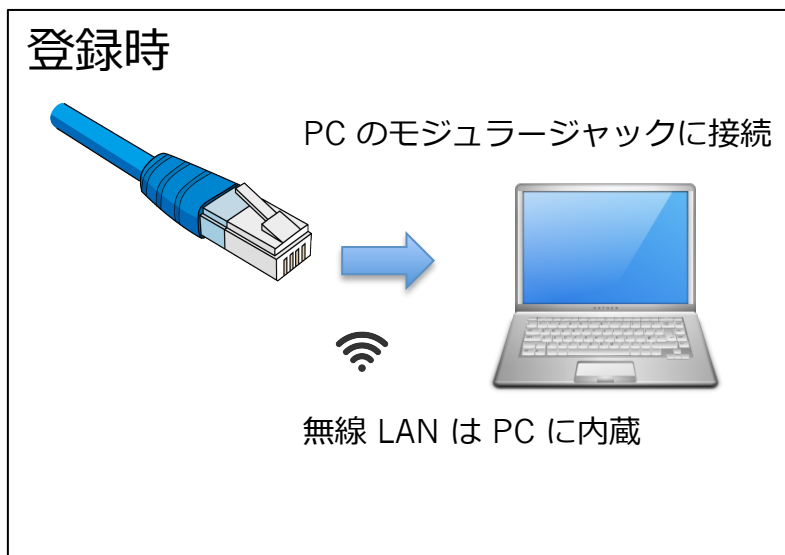
SeciossPass の初期設定時から NIC の数が変わらず、MAC アドレスが変わらなければ、利用できます。

また、NIC が増えた場合も利用できます。

登録時と利用時の違い	結果
変化なし	○
NICが増えた	○
NICが減った	×
MACアドレスが変わった	×

例1

SeciossPass の登録時と利用時で NIC の数が変わらなければ利用できます。
環境：PC に有線 LAN のモジュージャックがあり、無線 LAN が内蔵されている
登録時：有線 LAN を接続して登録
利用時：有線 LAN を抜き、無線 LAN 接続して利用→利用可能
NIC は、登録時は有線 LAN と無線 LAN、利用時也是有線 LAN と無線 LAN となる。
モジュージャックからケーブルを抜いても NIC は減らず、MAC アドレスは変わらない。



例2

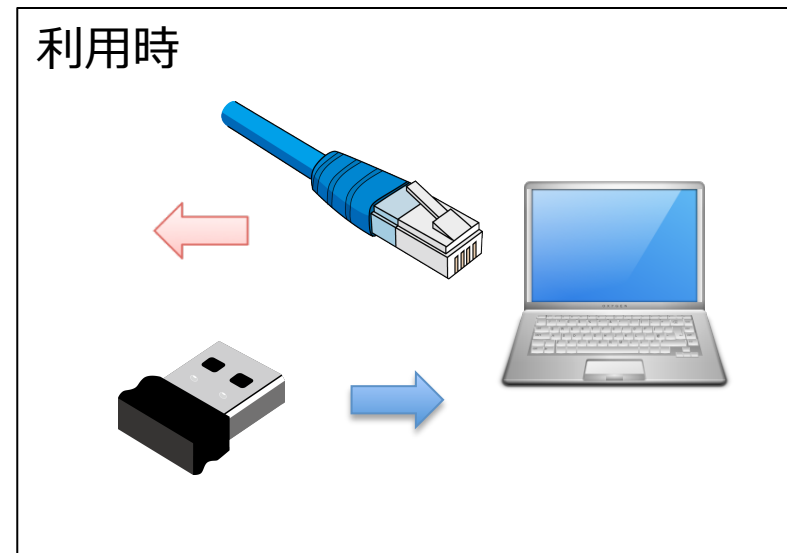
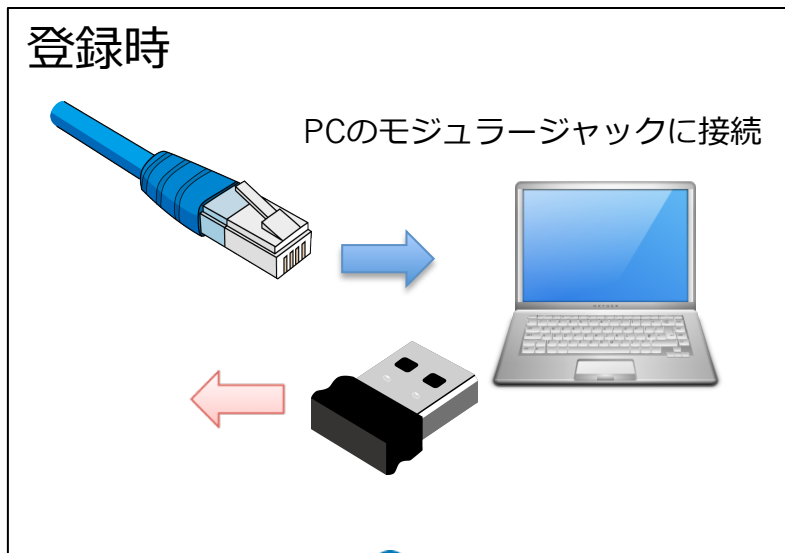
SeciossPass の登録時と利用時で NIC の数が増える場合は利用できます。

環境：PC に有線 LAN のモジュラーjackがあり、無線 LAN 子機を USB 接続する

登録時：有線 LAN を接続して登録、無線 LAN 子機は接続しない

利用時：有線 LAN を抜き、無線 LAN 子機を接続して利用→利用可能

NIC は、登録時は有線 LAN、利用時にも有線 LAN と無線 LAN となる。モジュラーjackからケーブルを抜いても NIC は減らず、MAC アドレスは変わらない。無線 LAN 子機を接続することで NIC が増えるが、利用可能。



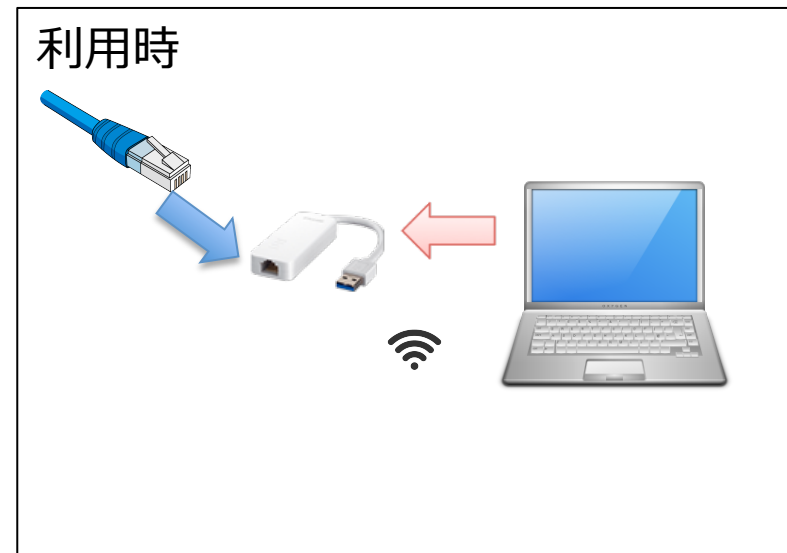
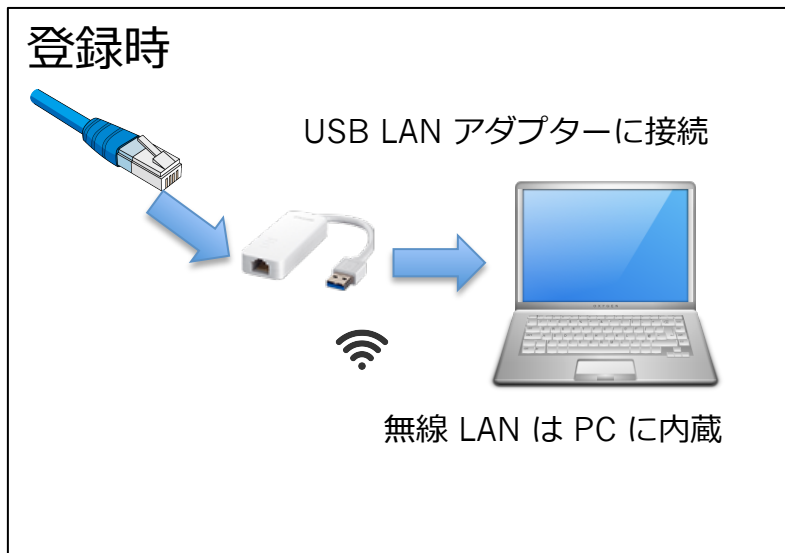
例3

SeciossPass の登録時と利用時で NIC の数が減る場合は利用できません。
環境：PC に有線 LAN のモジュージャックが無く、USB LAN アダプターで接続する。無線 LAN は内蔵されている

登録時：有線 LAN を USB 接続して登録

利用時：有線 LAN を抜き、無線 LAN 接続して利用→利用可能

NIC は、登録時は有線 LAN と無線 LAN、利用時は無線 LAN となる。USB LAN アダプターを抜くと NIC が減り、利用不可。



→ 例4

SeciossPass の登録時と利用時で MAC アドレスが変わる場合は利用できません。

環境：PC に無線 LAN 子機を USB 接続する

登録時：無線 LAN 子機を接続して登録

利用時：別の無線 LAN 子機を接続して利用→利用可能

登録時、利用時で異なる無線 LAN 子機を接続することで MAC アドレスが異なるため利用不可。

